



ブラウンハイム自治会

広報紙 第110号

2009年3月

発行責任者 続木 暉康

冬季交流会を終えて

冬季交流会実行委員会

去る2月8日(日)晴天 午前9時30分 少々風は吹いているものの、前日までに比べれば暖かく、恵まれた休日。初の試み、冬の模擬店をメインにし「みんなで集まり飲み・食べ・語る」を基本理念に据えた、「09年冬季交流会」の開催30分前です。

【ことのはじまり】

多額の繰越金のある中、最近の少子高齢化を反映してか、なかなかみんなで集まり楽しめるイベントを提案できないまま、私たちの任期も残り数カ月。みんなの記憶に残り、今期はこれが楽しかったから、来期はもっとみんなで工夫してたのしくしようヨ！というような声がみんなの中から湧き出てくるような楽しいこと。

老いも若きも男性も女性も、参加者も主催者もみんなで楽しめる(実はここが一番大切なことでした)イベントを提案できないか、悩ましい日々が続きました。

11月に入ってからは、私たちの任期である翌年3月が向こうのほうから駆けてくる、いえいえ体当たりしてくるような焦りを感じ始め、心の中は、「まずい！何か良い企画はないか。まずいぞ！まずいぞ！」も連続。

そんな時です。ある一人のへそ曲がりが出したひとこと「なにか、いつもと違うことをしようヨ！」。当然ながら出る「いつもと違うことってなんですか？たとえば・・・」の質問の声。「いやー・・・それは、まだ・・・」、「でも、何か違うことやらない？」、といった、まったく行き当たりばったりというか、苦し紛れというか、そんな感じで始まった企画でした。

それから、テンヤワンヤの2カ月間。とどのつまりが「冬だけど、夏祭りのときみたいな屋台(模擬店のこと)なんか面白くない？」「しかも、お金はあるんだから無料で。それで、みんなで飲んで・食べて・喋ってみんなに喜んでもらって、楽しい時間を共有できる場所を住民のみんなに提供できるとしたら(実際にはこんな格好いい表現ではなかつたような・・・)素敵なことじゃない？」救いは、割とノリのいい奥様階段委員の皆さんの言葉。

「そーねー、案外面白いんじゃない？」

隣の人と「どう？やってみようか？最後だし」

普段の会合だったら、「コレコレ！勝手に隣の人と話してんじゃないの！」などというところだが、今回はチョット勝手が違います。「ハイハイ！みんなで相談して決めてくださいな」ってものです。

「お餅つきは去年やったしねー。面白そうだからやってみようか！」

その言葉！私はたしかに聞きましたぞ！

それからである「ヨシ！やろう！」

「きっと、多分、おそらく？住民のみんなは喜んでくれるよ！」

などといったうちに階段委員の家にもごくごく普通に年末とお正月がやって来てお休みに・・・

「次の話し合いは1月4日（日）ですよ。」

「では、良いお正月を・・・」で、一時中断。

【年があけて】

1月4日（日）晴天 午前10時00分

「さあ、冬季交流会当日まで残りあと34日。ここからが頑張りどころですよ。」「各々出し物を考えてきてくれた？」

「よし！それじゃあチーム分けするよ」「ワイワイ、ガヤガヤ・・・」で始まり、結局のところ1月は階段委員だけではおさまらず、協力してくださる方々も含め毎週土曜日の夜に集まり、打ち合わせの連続。ステーキ、飲み物、けんちん汁、じゃがバター、お汁粉の各チームでいろいろアイデアを出し合いました。

その際に皆さんに配布したメモの内容の一部を紹介します。

(1) 初めての催しです。失敗を恐れずにまず自分たちが楽しみましょう。

参加して下さる皆さんに私たちが楽しく、明るく、生き生きとしているところを見てもらい元気になるてもらいましょう！

(2) 当日は自分の担当にこだわらず、余裕があれば忙しい所を手伝ってあげましょう。

たった、コレだけの基本合意でイザ！冬季交流会モードに突入です。

【冬季交流会開催前日】

あとは明日の天気を祈るだけ。午前中、夏におこなった「ブラウンハイム30周年記念行事」実行委員長経験のある原さんに手配をお願いしてあったテント、テーブル、プロパンガスなど什器備品が次々と運び込まれ、けんちん汁やじゃがバターの材料も届けられました。もう駄目だ、逃げられない。観念するしかないか。

あー明日何かの間違いで雨でも降ったらどうしよう！ブツブツ・・・

午後からは午前中に練習を終えたソフトボール「ボブス」の皆さんがテント張りとおまかなロケーションをしてくれました。

夕方、けんちん汁の仕込みも終え、軽く味見

「うん。これならなんとかなるんじゃないの」の声に励まされ、「明日は朝7時に集合してください」とお願いし各々家路へ。

【冬季交流会開催当日】

いつもより、早く目が覚めてしまいましたが顔をあらい、ヒゲを剃り、朝食を済ませて6時55分に集会所へ行くと、ナ・ナント！協力団体の皆さんがすでにブラウンハイムのテントを張り、あとは「どこにセットするのー」と私の指示待ちではないですか。

いやー、持つべきものはイザという時に動いてくれる先輩や友人達だと思い知らされ、心の底からの感謝感激でした。

さて、一通り準備も終わり協力団体の皆さんは管理組合が予定していたゴミコンテナ移動の手伝いに行きひと段落。

開催時間が刻一刻と迫り、だんだん不安になって来ました。

みんな来てくれるだろうか、途中から天気が崩れないだろうか、食べ物の量は間に合うだろうか、余らないだろうか等々。

「はい、みんな手をあらいましたか？マスクをしてくださいな」などと言ってるうちに、会長挨拶。開催に向けてのカウントダウン。

10時00分。

みんな来ない！やはり冬にやるのは・・・等と今さら考えても仕方の無いことを、ついつい考え始めたその時です、なにやら話し声が、足音が・・・来た！（いえ、いらっしやっただシタ）次々と見える顔、顔、顔。みなさんが一斉に来てくれました。（あ！そうか10時まで来ちゃ駄目よって言ってあったんだっけ）。

それからは、とにかく来てくださった皆さんをできるだけお待たせしないようにということだけに夢中になり気がつけば終了時間。

ほんとうにアッ！という間の出来事でした。



【終わってみて・・・祭りのあと】

参加して下さった皆さん、楽しんでいただけましたか。私は充分に、心の底から楽しませていただきました。

本当にありがとうございました。

また、いつか機会がありましたら何か楽しいことを、みんなで楽しめることをしましょう。今度は、企画を募集して提案者のみなさんと一緒にできればもっと楽しいかな？とも思います。

ささやかな、こういうことの積み重ねが、イザというときの住民同士の助け合いにつながることを信じております。

みなさん本当にありがとうございました。

心からの感謝を込めて。

(記 三瀬 光一)

防災組織「災害に備える会」

設立準備委員会（ワーキンググループ）の目標

「災害に備える会」

設立準備委員会

管理組合、自治会の役員が半年毎に変わることにより防災管理委員会の役員が交代せねばならない現在のシステムでは継続的防災活動及び訓練が難しくなっております。

一方、災害はいつ起こるか分かりません。よって災害時に出来るだけ効率的な活動が出来る様な組織を構えるため一定期間防災組織として執行部の変わらない体制を構築し、継続的な活動や訓練を重ねていける組織を管理組合、自治会の支援のもとに立ち上げることを目標としたワーキンググループ（準備委員会）です。

目標としてます新組織に於いての最高責任者は組織の代表者があたりますが、建物の管理最高責任者は管理組合理事長であり、行政との連絡窓口は自治会会長となり、それぞれの責任分担も明確にし組織を盛り上げて参りますので自治会各位の新組織結成に際しましてのご支援、ご鞭撻、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

～今年も宜しくお願いいたします～

さつき会 加藤勢津

昨年はみなさまのご協力で少人数ですが、楽しく活動をすることが出来ました。ありがとうございます。

1月には講師として21街区の松田さんをお迎えして、フラワーアレンジメント教室を開きました。きれいなお花に囲まれ素敵な作品も出来上がり、参加された方々には大好評でした。

今年も喜んでもらえるような企画を考えていきたいと思ひます。宜しくお願いいたします。



新成人おめでとう

青少年部

1月12日（月）に成人式を迎えた方です。

大塚友美子様 (20-1)
竹中 堅 様 (20-2)
湊 由美子様 (20-4)

清水 由貴様 (21-1)
佐野 崇文様 (21-3)
和泉早紀子様 (21-3)

自治会より成人祝いとして、一人2000円分の図書カードを、贈りました。

